

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室では、慶應義塾大学との協働により、「日常的な健康度を指標とした都市コホート研究：神戸トライアル参加者の追跡研究」を実施しています。

【研究課題名】

日常的な健康度を指標とした都市コホート研究：神戸トライアル参加者の追跡研究

【研究の対象】

本研究では、2010年～2011年の神戸トライアルのベースライン調査に参加した1,134名を対象集団とし、2021年3月時点での死亡者、転出者、および調査拒否者を除いた1,053名に対して参加の募集を行い、本人から慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室に参加申し込みがあった者を研究対象者として登録しました。

【研究期間】

研究機関の長の研究実施許可日から2029年3月31日まで

【研究の意義】

本研究は、神戸トライアルと同じ研究目的で、新たに慶應義塾大学の研究として、神戸トライアルの共同研究機関の協力の下、神戸トライアル参加者を対象として追跡調査を実施しました。本研究は、COVID-19感染症の蔓延のため神戸トライアルの追跡率を補完することで、より高い参加率と長い追跡期間によって解析精度を向上させることができるため、神戸トライアルの追跡期間を延長してデータ取得と解析を行い、生活習慣と健康課題の関連の検証をより明確に行うことができるようになります。

【研究の目的】

生活の質を保つためには、がんや循環器病など重篤な生活習慣病の発症を予防することに加えて、高血圧などの動脈硬化性疾患の危険因子の進展や増悪を予防し、聴覚機能や運動機能、メンタルヘルスなど生活の質に関わる様々な機能を維持することが重要となります。本研究によって神戸トライアルの追跡期間が延長されるため、高血圧などの危険因子の発症・増悪や、生活の質の低下に関わる要因の解明をより詳細に行うことが可能となります。

【研究の方法】

本研究は、神戸医療産業都市推進機構によって10年間の追跡を実施された神戸トライアルの参加者を対象として神戸医療産業都市推進機構国際医療開発センター（IMDA）で追跡調査を行い、すでにデータ収集を終了いたしました。今後は既存のデータを用いた解析を進めていきます。

解析に使用される調査項目

1. 血液・尿検査

- 貧血検査、肝機能検査、腎機能検査、心機能検査
- 糖尿病関連検査、脂質関連検査
- その他一般検査、高感度CRP、血中脂肪酸構成
- 尿検査（微量アルブミン、電解質など）

2. 身体・生理学的検査

- 血圧、身長、体重、腹囲、首周囲径
- 聴力、内臓脂肪測定
- 超音波検査（脂肪肝、頸動脈の状態）
- 体組成分析
- 睡眠検査（ウェアラブルデバイスによる7日間計測）

3. 問診情報

- 生活習慣（喫煙、飲酒、運動、水分摂取など）
- 健康状態（ストレス、認知機能、聴力、関節症状など）
- 既往歴、現病歴、家族歴
- 住環境、就労状況

【研究組織】

研究代表機関：

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室（研究責任者：岡村智教・教授）

共同研究機関：

- ・和歌山県立医科大学衛生学（東山綾・准教授）
- ・国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター（宮本恵宏・センター長）
- ・兵庫医科大学医学部社会医学予防医学部門（久保田芳美・講師）
- ・大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座（宮寄潤二・特任助教）
- ・滋賀医科大学臨床看護学（宮松直美・教授）
- ・京都光華女子大学健康科学部（西川智文・教授）
- ・帝京大学医学部衛生学公衆衛生学（辰巳友佳子・講師）
- ・株式会社 ACCELStars（今井由希子・臨床研究リーダー）
- ・東京科学大学大学院保健衛生学研究科公衆衛生看護学分野（月野木ルミ・教授）

研究協力機関：

- （公財）パブリックヘルスリサーチセンター

試料・情報の提供のみを行う機関：

- （公財）神戸医療産業都市推進機構

【個人情報の保護】

収集したデータは全て匿名化され、個人情報は慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室内で厳重に管理します。個人情報と検査データは別々のコンピュータで管理され、外部とのアクセスは制限されます。

【研究成果の公表】

研究で得られた成果は、学会発表および学術論文、研究報告書等で公表します。また神戸トリアル
のニュースレターでも公表します。

【問い合わせ先】

研究責任者（大阪大学） 宮寄潤二

大阪大学医学系研究科社会医学講座公衆衛生学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

電話番号：06-6879-3911

研究代表者：岡村 智教

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL: 03-5363-3777